

FRONTEO、人工知能ロボット Kibiro(キビロ)の 音声認識、音声合成ソフトウェアを刷新 音声処理の強化で、インバウンド対応など多彩な活用が可能に。

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本正宏）と、FRONTEOの100%子会社で人工知能を活用したデジタルコミュニケーション事業を展開する株式会社FRONTEOコミュニケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：斎藤匠）は、東芝デジタルソリューションズ株式会社（神奈川県川崎市 取締役社長 錦織弘信 以下、東芝デジタルソリューションズ）、フェアリーデバイセズ株式会社（本社：東京都文京区本郷、代表取締役：藤野真人、以下、フェアリーデバイセズ）の技術を採用し、人工知能搭載ロボット「Kibiro」の音声処理ソフトウェアを刷新いたしました。

Kibiroは、法人向けパッケージおよび一般向けでの販売を行っております。今回、音声処理の刷新を行ったのは、インバウンド対応の重要性を見据えた多言語での対応と、利用者とのスムーズなコミュニケーションに不可欠となる、より精度の高い音声認識技術、音声合成技術の必要性が高まったものです。このたび、下記の特長を持つ、東芝デジタルソリューションズおよびフェアリーデバイセズの技術を採用しました。

◆音声認識の精度を向上

音声認識機能に、東芝デジタルソリューションズの「RECAIUS™ 音声認識サービス」を採用し、日本語、英語、中国語の認識に対応し、音声認識精度が従来より向上しました。また、音声認識のキーの1つである音声区間認識技術には、フェアリーデバイセズが提供する「mimi®」サービスの音声切り出しライブラリを採用し、マイクで拾った音の中から、人が発話する音声をより正確に把握できるようになりました。

◆音声合成をより自然な発話に

音声合成機能には、東芝デジタルソリューションズの「RECAIUS™ 音声合成ミドルウェア ToSpeakG3 日米中版」を採用しました。東芝独自方式による高音質な音声合成技術による滑らかな発話が特徴で、日本語に加え、英語、中国語が発話可能となりました。

FRONTEOコミュニケーションズは東芝デジタルソリューションズ、およびフェアリーデバイセズとパートナーシップを結び、今後もロボットなどのデバイスを始めとしたさまざまなデジタルコミュニケーションのソリューションでビジネスの拡大を図って参ります。また引き続き、優れた先端技術を持つ企業との連携を進め、より価値のあるサービス提供に取り組んでまいります。

■東芝コミュニケーション AI「RECAIUS™（リカياس）」について

音声や映像から人の意図を理解しビジネスと生活の安心・快適な活動をサポートするサービスです。東芝が長年にわたり研究開発してきた、音声認識、音声合成、翻訳、対話、意図理解、画像認識（顔・人物画像認識）などのメディア知識処理技術（メディアインテリジェンス技術）を融合し体系化しました。RECAIUS™は、新しいライフスタイルやビジネスの創出に貢献します。

■フェアリーデバイセズ株式会社について

フェアリーデバイセズは、「使う人の心を暖かくする一助となる技術開発」をコーポレート・アイデンティティとして掲げる東京大学発のベンチャー企業です。音声信号処理、音／音声認識と関連する機械学習諸分野の応用研究開発、及び対話システム・UX デザインの設計と評価に強みを持ち、これらの分野における、共同研究開発事業、ライセンス事業、コンサルティング事業、及びクラウド API サービスである「mimi®」のサービス提供事業を主要事業としています。

■Kibiro について

Kibiro は FRONTEO コミュニケーションズが提供する、コミュニケーションの課題解決にフォーカスした人工知能ロボットです。対面者に優しい外観デザインと身振り手振りによる感情豊かな応対を特徴とし、接客や案内など様々なビジネスシーンで広く活用されています。また、クラウドネットワークで FRONTEO が独自開発した人工知能「KIBIT」と繋がることで、状況を判断し適切な情報の提供を可能としています。

■KIBITについて

人工知能「KIBIT」は人工知能関連技術のLandscapingと行動情報科学を組み合わせ、FRONTEO が独自開発した日本発の人工知能エンジンで、人間の心の「機微」（KIBI）と、情報量の単位である「ビット」（BIT）を組み合わせ、「人間の機微を理解する人工知能」を意味しています。テキストから文章の意味を読み取り、人の暗黙知や感覚を学ぶことで、人に代わって、判断や情報の選び方を再現することができます。

【株式会社 FRONTEO コミュニケーションズについて】 URL: <http://www.fronteo-cc.com/>

株式会社 FRONTEO コミュニケーションズは、「人間の感覚や暗黙知を学ぶ人工知能技術」をデジタルコミュニケーション事業に応用することで、デジタルキュレーションサービスやコミュニティサイトの運営等の事業を展開する株式会社 FRONTEO の 100%子会社です。人工知能技術を使って人間の趣味や嗜好を学び取り、ウェブ上の膨大な情報の中から必要な情報を素早く入手することで、「一人ひとりが自分にとって価値ある情報に出会う」ことを実現し人間の豊かな創造力を支援することで、社会の発展に貢献することを目指します。2015 年 9 月 1 日に Rappa 株式会社として設立、2016 年 7 月 1 日付けにて現社名に変更しております。資本金 1,000 万円（2017 年 3 月 31 日現在）。

【FRONTEO について】 URL: <http://www.fronteo.com/>

株式会社 FRONTEO は、独自開発の人工知能エンジン「KIBIT」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行う e ディスカバリ（電子証拠開示）や、コンピュータフォレンジック調査を支援する企業として 2003 年 8 月に設立。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Liti View（リット・アイ・ビュー）」、アジア言語に対応した「Predictive Coding（プレディクティブ・コーディング）」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援を提供しています。同事業で培われ、発展した独自の人工知能関連技術は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現。最近ではヘルスケアやビジネス・インテリジェンス、マーケティングなどの領域に



活用し、事業の拡大を進めています。2007年6月26日東証マザーズ、2013年5月16日NASDAQ上場。資本金 2,481,621 千円 (2017年3月31日現在)。2016年7月1日付けで株式会社 UBIC から現社名に変更しております。

* 本文章に記載されている会社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

〈本プレスリリースの取材に関するお問合せ先〉

株式会社 FRONTEO

コーポレート・コミュニケーション部 広報担当：西岡、池内

TEL: 03-5463-6380 Email: pr_contact@fronteo.com

〈人工知能搭載ロボット「Kibiro」に関するお問い合わせ先〉

株式会社 FRONTEO コミュニケーションズ

TEL: 03-5463-6331 Email: info@fronteo-cc.com